

## 5.5 高等学校へのサービス

### (1) 学部説明会

工学部の説明会を以下の表に示すように、8つの会場において高等学校の進路指導担当の先生と予備校の先生を対象に開催した(案内状は319校に発送)。各会場には、熊本の会場を除いて教員を2名ずつ派遣した。派遣教員に対して事前に、入試実施委員長より、工学部説明会のための説明会を実施した。令和元年度の参加校は115校、参加教師数は125名であった。第一部で、熊本大学、工学部及び各学科・専攻の紹介を行い、第二部において、令和2年度入試について令和2年度入学者選抜要項に基づき説明した。その他、平成31年度の入学試験に関する統計資料(各学科の前期日程、後期日程、及び推薦入学別の募集人員、志願者数、受験者数、合格者数、及び入学者数を始め、総得点分布、最高点・最低点・平均点、併願状況など)、入学選抜方法、各学科の進路について、合わせて1時間半程度説明を行った。その後、質疑応答を20～30分を行った。各会場では、参加者に対して学部説明会について、高校での進路指導、及び工学部の入試についてのアンケートを実施した。会場での質問に対する回答の補足、及びアンケートに書かれた質問については後日、メール等にて質問者へ回答した。熊本会場は8名(おもに入試実施委員会委員)で対応し、説明会の冒頭で藤吉副工学部長より挨拶と熊本大学、工学部の現状説明があった。

開催日	地区	参加者	担当学科等	担当教員名
6月19日(水)	長崎	10校 10名	土建・情電	柿本竜治 常田 明夫
6月19日(水)	宮崎	11校 11名	機数・材応	森和也 横井裕之
6月19日(木)	北九州・山口	4校 4名	情電・材応	伊賀崎 伴彦 佐々木満
6月20日(木)	鹿児島	12校 13名	土建・材応	友清衣利子 大山順也
6月20日(木)	熊本	34校 43名	全 学 科	井原敏博(委員長) 藤見俊夫(社環) 大西康伸(建築) 米本幸広(機械) 千葉周也(数理) 嵯峨智(情報) 杉本 学(物質) 松川義孝(マテ)
6月21日(金)	福岡	20校 20名	土建・機数	大西康伸 金大弘
6月21日(金)	大分	15校 15名	機数・情電	鳥居修一 松島 章
6月21日(金)	佐賀	9校 9名	情電・材応	藤吉 孝則 西山勝彦

上記学部説明会を補完するために、説明会に出席されなかった高等学校の中から熊本大学工学部への進学実績の多い高等学校を選んで、藤吉副工学部長主導で下記の九州圏内33校を訪問した。進路指導担当の先生に対して、特に令和3年度に予定されていた入試制度の大きな変更(英語の外部試験の活用、記述式の採用、調査書の評価など)、およびGLC入試等を中心に、それぞれ1時間程度の説明を行った。高等学校側の反応は概ね良好で、進路指導に携わる先生方と直接お話しすることができ、たいへん有益な情報交換をすることができた。

訪問日	都道府県	高校名	国公私立	訪問者
8月27日	熊本県	人吉	公立	井原敏博
7月9日	福岡県	明善	公立	藤吉孝則

7月9日	福岡県	伝習館	公立	藤吉孝則
7月9日	福岡県	三池	公立	藤吉孝則
7月9日	福岡県	大牟田	私立	藤吉孝則
7月9日	福岡県	八女学院	私立	藤吉孝則
7月17日	福岡県	東筑	公立	藤吉孝則
7月17日	福岡県	小倉	公立	藤吉孝則
7月17日	福岡県	八幡	公立	藤吉孝則
7月17日	福岡県	北筑	公立	藤吉孝則
7月17日	福岡県	宗像	公立	藤吉孝則
7月25日	福岡県	城南	公立	井原敏博
7月25日	福岡県	福岡	公立	井原敏博
7月25日	福岡県	筑紫丘	公立	井原敏博
7月25日	福岡県	修猷館	公立	井原敏博
7月31日	福岡県	新宮	公立	藤吉孝則
8月29日	福岡県	京都	公立	藤吉孝則
7月23日	佐賀県	鹿島	公立	藤吉孝則
7月31日	佐賀県	致遠館	公立	藤吉孝則
7月31日	佐賀県	鳥栖	公立	藤吉孝則
7月23日	長崎県	大村	公立	藤吉孝則
7月23日	長崎県	諫早	公立	藤吉孝則
7月23日	長崎県	長崎東	公立	藤吉孝則

8月26日	長崎県	島原	公立	藤吉孝則
8月26日	長崎県	佐世保南	公立	藤吉孝則
8月26日	長崎県	佐世保西	公立	藤吉孝則
8月29日	大分県	大分上野丘	公立	藤吉孝則
8月27日	宮崎県	宮崎西	公立	井原敏博
8月28日	宮崎県	日向学院	私立	井原敏博
8月28日	宮崎県	宮崎大宮	公立	井原敏博
7月30日	鹿児島県	甲南	公立	藤吉孝則
7月30日	鹿児島県	鹿児島中央	公立	藤吉孝則
7月30日	鹿児島県	鶴丸	公立	藤吉孝則

## (2) 高校訪問・出前授業

高校へ教員が赴き、出前授業・実験や工学部、学科の説明を行うことは、高校生に大学の教育の一端を紹介し、本学工学部の教育・研究内容を理解してもらい、さらに本学工学部に興味を持ってもらうための有効な広報活動と考えられる。また、高校側との意見交換などの機会にもなり、高大連携の推進の点からも有意義である。平成20年度から工学部ホームページにおいて高校訪問・出前授業の申し込みを随時受け付けるシステムを稼働させており、高校訪問や出前授業を担当する学科、実施日時、講義テーマなど、高校からの希望をWebで受け付けていた。平成25年度から、高大連携推進室を通して高校訪問・出前授業の申し込みを行うことになった。平成30年度は22校の高校へ出向いたが、本年度は表に示すように16校の高校訪問・出前授業となった。また、表に示すように12～1月に16校の高等専門学校を訪問し、工学部及び大学院自然科学教育部(工学系)の説明を行った。